令和3年度　年間指導計画

A科：生物科学科　B科：環境科学科　C科：食農科学科

教科名	農　業	科目名	農業と環境	単位数	4	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材	農業と環境（実教出版）				

学習目標

○農業生物の育成と環境の保全についての学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高める。
○農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

学習方法

○栽培の基礎である成長の原理や生産技術の基本を習得する。
○体験学習を重視し、実験・実習の繰り返しや調査・観察を重ねることにより、農業及び環境について学ぶ姿勢を身につける。
○個人・グループ担当区を設定し、栽培・調査についての技術の習得を図るとともに、協力して学習を進める。

学習評価

	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
関	関心・意欲・態度		農業生物の育成と環境の保全など農業と環境について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。
思	思考・判断・表現		農業生物の育成と環境の保全など農業と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
技	技能		農業生物の育成と環境の保全など農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、農業生物の育成と環境の保全に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知	知識・理解		農業生物の育成と環境の保全など農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、農業生物の特性と栽培・飼育環境や環境保全・創造の重要性を理解している。

※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	単元（題材）	学習内容	評価の観点 関	思	技	知	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期中間	農業・環境学習とは何か	農業と環境のかかわり	○				[関]栽培や環境について興味・関心をもち、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関わりについて探求しようとしている。 [思]栽培や環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [技]関係する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して利用している。また、適切な栽培管理ができている。 [知]栽培や環境に関する基礎的な知識を身に付け、栽培や農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関わりについて理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
		農業や環境について学ぶ大切さ	○					
	農業と環境の学び方	プロジェクト学習とは何か				○		
	農業と自然・社会とのかかわり	人間と農業	○	○				
		世界の農業・食料・環境		○				
	日本の農業・農村と食料供給	日本の農業を支える自然環境	,○					
		日本の農業・農村の姿		○	○	○		
		食料の流通・消費と食品産業		○		○		
	スイカ・エダマメの栽培	スイカ・エダマメの一生と栽培計画	○	○				
		施肥・耕うん・うねたて・マルチング・播種・定植・除草			○	○		
		人工授粉・中耕・土寄せ			○	○		
		生育調査			○	○		
前期末	作物をとりまく環境とその管理	作物栽培と環境	○				[関]作物をとりまく環境とその管理に関心をもち、栽培や環境に関する学習に意欲的に取り組んでいる。 [思]作物をとりまく環境とその栽培・管理について、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [技]関係する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して利用している。また、適切な栽培管理ができている。 [知]作物をとりまく環境とその栽培・管理について、基礎的な知識を身に付け、理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・発表会 ・考査
		作物の生育と大気の環境				○		
		作物の生育を支える土	○	○		○		
	スイカ・エダマメの栽培	除草・間引き			○	○		
		収穫・調査			○	○		
		プロジェクトのまとめ		○				
	ダイコン・ハクサイの栽培	ダイコン・ハクサイの一生と栽培	○	○				
		施肥・耕うん・うねたて・播種			○	○		
		生育調査	○		○	○		
		除草・間引き	○		○	○		
後期中間	環境の調査	生物調査	○		○	○	[関]作物をとりまく環境や環境の保全について興味・関心を持ち、その学習に意欲的に取り組んでいる。 [思]作物をとりまく環境や環境の保全に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [技]植物や土壌に関する調査・測定・調整の基礎的な技術を身に付けている。また、様々な資料や情報を収集し、適切に選択して利用している。 [知]作物をとりまく環境とその管理や環境保全について、基礎的な知識を身に付け理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
		土壌の調査	○		○	○		
	作物をとりまく環境とその管理	作物の養分と肥料	○	○	○			
		作物をとりまく生物				○		
	環境の保全と修復・再生	環境保全と修復・再生とは	○					
		森林の保続と環境保全	○			○		
		農村の環境整備	○					
		身近な野生生物の保護		○				
後期末	ダイコン・ハクサイの栽培	収穫・調査			○	○	[関]飼育について興味・関心をもち、家畜の特性、飼育環境およびそれらの管理技術が相互に関係していることについて探求しようとしている。 [思]栽培・飼育に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [技]日本標準飼料成分表や日本飼養標準を適切に選択し活用している。また、各種調査が適切にできている。 [知]栽培・飼育に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・発表会 ・考査
		プロジェクトのまとめ		○				
	家畜の特性と飼育	家畜と飼育	○					
		おもな家畜の一生と生産	○					
		家畜の成長と繁殖	○			○		
		家畜の飼料と栄養		○	○	○		
		飼育環境の管理と整備	○	○				
		家畜と人間の新たなかかわり	○					
		ニワトリの飼育の実際	○			○		
		乳牛の飼育の実際	○			○		